



こぶし

Yamamoto Acc office



山本総合会計ニュース

編集発行人
税理士

山本孝久

〒152-0003
東京都目黒区碑文谷5-12-1
TS碑文谷ビル2F
TEL 03 (3791) 8863
FAX 03 (3791) 8292

3月

(弥生) MARCH

20日・春分の日

日	・	12	26
月	・	13	27
火	・	14	28
水	1	15	29
木	2	16	30
金	3	17	31
土	4	18	・
日	5	19	・
月	6	20	・
火	7	21	・
水	8	22	・
木	9	23	・
金	10	24	・
土	11	25	・

3月の税務と労務

- | | |
|--|--|
| 国 税 ／平成28年分所得税の確定申告 2月16日～3月15日 | 国 税 ／1月決算法人の確定申告(法人税・消費税等) 3月31日 |
| 国 税 ／個人の青色申告の承認申請 3月15日 | 国 税 ／7月決算法人の中間申告 3月31日 |
| 国 税 ／贈与税の申告 2月1日～3月15日 | 国 税 ／4月、7月、10月決算法人の消費税の中間申告(年3回の場合) 3月31日 |
| 国 税 ／2月分源泉所得税の納付 3月10日 | 地方税 ／個人の都道府県民税、市町村民税、事業税(事業所税)の申告 3月15日 |
| 国 税 ／個人事業者の28年分消費税の確定申告 3月31日 | |

ワンポイント ゴルフ場利用税

ゴルフ場利用者には、18歳未満等一定の人を除き1人1日最大1,200円(ゴルフ場の等級による)が、都道府県のゴルフ場利用税として課税されます。平成26年度の税収は479億円で、その7割はゴルフ場のある市町村に交付されます。スポーツ施設への課税はゴルフのみのため、毎年の税制改正で廃止要望があります。

異所性脂肪

太っていても生活習慣病を発症しない人がいる一方で、やせていても生活習慣病を発症する人がいます。生活習慣病の要因として最近注目されているのが、「異所性脂肪」です。

肥満とは

骨や筋肉、内臓などの身体の組成は、20代で出来上がりそれ以降はあまり変化しませんが、体重は増えることがあります。20代以降に増えた体重の中身は、ほぼ脂肪だといえます。肥満とは、このように体の中の体脂肪が過剰に蓄積された状態と定義されています。

日本肥満学会では、BMI値が22を適正体重とし、25以上を「肥満」、18.5以上25未満を「普通」、18.5未満を「やせ」と判定しています。BMI値は体重(kg)÷(身長(m)×身長(m))で計算されます。過去のデータから、BMI値が22の人が高血圧や糖尿病などの発症率が最も低いという結果が出ており、BMIが22より低い人も高い人も、これらの病気になる率が高くなる傾向にあります。

また、体脂肪率も肥満の判定に重要な要素です。男性では25%以上、女性では30%以上が肥満とされています。BMI値が25未満の方でも体脂肪率が高い場合は「かくれ肥満」といわれています。

肥満のタイプ

脂肪の分布の仕方によって肥満は「皮下脂肪型肥満」と「内臓脂肪型肥満」の2つのタイプに分けられます。

皮下脂肪型肥満は、皮膚の下部にある皮下組織に脂肪が蓄積するタイプの肥満です。二の腕やおしり、腰回りなどに蓄積され、体温を下げない役割や外部からの衝撃を和らげる役割を果たしています。「洋ナシ型肥満」と呼ばれることもあり、一度ついた皮下脂肪はなかなか落ちにくいという特徴を持っています。

内臓型脂肪は、腸間膜という腸を固定するための膜や内臓の周りに脂肪が蓄積するタイプの肥満です。血行のよい内臓や栄養の代謝に関係する臓器の周りに脂肪がつくため、蓄積されるのも分解されるのも早いという特徴があります。「リング型肥満」とも呼ばれ、特に中高年の男性に多くみられます。

異所性脂肪とは

脂肪は、本来は脂肪細胞のある場所にたまります。しかしその脂肪細胞におさまりきらなくなると、心臓や肝臓といった臓器や筋肉細胞の中のような「異所」にたまっていくようになります。これを異所性脂肪といいます。なお文献によ

っては、「皮下脂肪」と「異所性脂肪」があり、さらに「異所性脂肪」を「内臓脂肪」と「第三の脂肪」とに分けられるとしているものもありますが、ここでは「皮下脂肪」・「内臓脂肪」に続く第三の脂肪として「異所性脂肪」とします。

異所性脂肪が増えると…

異所性脂肪が心臓に蓄積されると、善玉ホルモンが減少し血管を収縮させるだけではなく、悪玉ホルモンが分泌され血管に炎症を起こします。そして動脈硬化や心筋梗塞を発症するリスクが高まります。

肝臓に異所性脂肪が蓄積されると、肝機能に異常をきたします。そして全肝細胞の30%以上が脂肪化すると「脂肪肝」と呼ばれます。最近では、アルコールを飲まないのに脂肪肝が進行してNASH(非アルコール性脂肪肝炎)を引き起こすケースも見受けられます。これは、食生活の欧米化と運動不足が原因のようです。

また、すい臓や筋肉に脂肪が蓄積されると、インスリンの分泌や働きが悪くなります。そうになると、体内での血糖値のコントロールが難しくなり、糖尿病になりやすくなります。

異所性脂肪を減らすには、食生活の改善と適度な運動が必要です。

援助から投資へ

アフリカというイメージを持たれている方も多いかもしれませんが。実際に日本は、1970年代にアフリカ諸国に対する援助を開始し、それから援助を拡大させてきました。1990年代には世界でも上位の水準に達しました。

それが現在では、アフリカは欧米や中国の企業が多く参入するようになってきました。この背景には、1990年代から2000年代初めにかけて内戦の終結や民主化の進展があるようです。

アフリカには50を超える国がありますが、そのうちナイジェリア・南アフリカ・エジプト・アルジェリア・アンゴラの上位5か国でアフリカ全体のGDPの約6割を占めているという特徴を持っています。製造業の比率はあまり高くなく、人件費の水準もアジア諸国と比べて高いケースもあるようです。

アフリカの可能性

アフリカは、人口の増加や埋蔵されている資源、そして経済成長が見込まれるという点で注目されています。

人口をみると、例えばナイジェリアは2013年現在、約1億7,400万人ですが、これが2030年には約4億4,000万人と2.5倍に増加すると推計されています。

アフリカ大陸のうち、モロッコ・アルジェリア・チ

注目される アフリカ市場

ユニビア・リビア・エジプトの北アフリカを除いた、サハラ砂漠以南の国々のことを「サブサハラ・アフリカ」といいます。サブサハラ各国では、石油や天然ガスだけではなく、レアアースやクロムなど様々なエネルギー資源や鉱物資源が埋蔵されています。

アフリカ経済は、2000年代以降GDPが大きく成長しています。このまま成長が続くのであれば、2030年にはGDPは約3.9兆ドルに達します。これは2014年のドイツのGDPとほぼ同じ水準です。

日本の取り組み

日本は1993年に、アフリカ開発について話し合うために「東京アフリカ開発会議(TICAD)」を開催しました。この会議は、アフリカ諸国と開発のパートナーとの間で政策的な対話を促進することで、アフリカの自助努力による開発のための支援を結集させることを目的に開催されました。当初は5年ごとに日本で開催さ

れていましたが、2013年に3年ごとにアフリカと日本で交互に開催することに変更されました。

これを受けて昨年8月、ケニアで初めてTICADが開催されました。ここでは、国際資源価格の下落やエボラ出血熱の流行と保健システムの脆弱性など、アフリカが直面している新たな課題とその対応について議論されました。また日本は、今後3年間で約1,000万人に対する人材育成や300億ドル規模のインフラ整備・強靱な保健システムの促進などの投資を行うことを発表しました。

アフリカに進出した企業

日本の企業の中にも、すでにアフリカに進出している企業があります。建設機械や農業機械などを扱う大手メーカーは、1980年代からアフリカで農業機械の販売を始めています。販売当初はエジプトなどの一部の地域だけでしたが、最近ではサブサハラ各国に販売エリアが拡大しています。耐久性があり低燃費で操作性も良いという品質の高さが評判で、合計で約2万台の販売実績があります。

また、日本で讃岐うどんのチェーン店を展開する会社では、2015年にアフリカに進出。このお店ではテリヤキチキンにライスやヌードルを組み合わせ販売するメニューを提供していますが、目の前で調理するスタイルが好評のようです。

中小企業の人材確保

まもなく新しい年度が始まり、新入社員が入社する時期です。中小企業庁では、2014年に中小企業の人材確保について調査を行っています。

中小企業が利用している人材確保の手段を見ると、新卒採用に関してはハローワークの利用率が約28%と最も高く、次いで教育機関の紹介や知人・友人の紹介が多く利用されています。しかし採用実現率をみると、ハローワークは約64%とそれほど高くありません。教育機関の紹介や知人・友人の紹介は70%以上の高い実現率を示しています。

一方、中途採用に関してみると、ハローワークの利用率が69%と最も高く、次いで知人・友人の紹介、就職情報誌などの求人広告と続きます。新卒採用で利用された教育機関の紹介は約7%にとどまっています。採用実現率についてもハローワークや

知人・友人の紹介が75%を超えており、これらの採用手段が多く用いられていることがわかります。

人材が確保できている企業と確保できていない企業の特徴をみると、仕事のやりがいや職場環境への配慮については、あまり大きな差は認められませんでした。一方で人材が確保できている企業では、労働条件や賃金面での優位だけではなく、人材確保のためのノウハウや手段に強みを持っている企業が多いという特徴がありました。

採用される就業者が就職時に明確であった重視する事項を見ると、賃金や労働条件といった項目が高い傾向にありました。ただ大企業に比べて中規模企業や小規模企業は、明確な情報が得られていないことがわかりました。

採用に関する情報が不足していることが、中小企業の人材確保におけるマイナス要因や、人材の定着率の低下につながっている可能性が指摘されています。

睡眠

人間はたいいて、夜に六時間から八時間くらいの睡眠を横になり目をつぶってとりませんが、人間以外の動物には、違った眠り方をしているものもいます。例えば水の中を泳ぐイルカは、水面に鼻を出して呼吸する必要がありません。そのため、片目だけ閉じて脳の半分を眠っている状態にしています。これを「半球睡眠」と呼びます。半球睡眠

は、長距離を移動するカモメなどの渡り鳥にもみられます。動物のなかで最もよく眠るのはナマケモノとコアラで、だいたい二〇時間くらい眠るそうです。これに対して、ウシやゾウなどの草食動物の多くは睡眠時間が短く、二時間から三時間くらいしか眠りません。これは、眠っている間に肉食動物に襲われないよう、なるべく起きて警戒する必要があるのでそうです。

フレーバーウォーター

りんごやなし、みかんなどといったフルーツの香りと味がほんのりついたフレーバーウォーターが、飲料メーカー各社から販売されています。ミネラルウォーターでは味気ないが、ジュースなどのソフトドリンクは糖分が心配だという方に人気があるようです。

しかし、市販されているフレーバーウォーターにも糖分や酸化防止剤などの添加物が使用されているものもあります。表示されている栄養成分をみると、100mlあたりでエネルギーは20kcal前後、炭水化物は5g前後と、一般的なソフトドリンクよりは少ないものの、スポーツドリンクと同程度であることがわかります。

健康を意識してフレーバーウォーターを飲まれている方もいらっしゃると思いますが、栄養成分や原材料名の表示を確認されたほうが良いと思われます。